

「歯科診療所併用住宅」 (鉄筋コンクリート造)

1階平面図兼配置図、各階平面図、立面図、断面図[縮尺1/100]、部分詳細図(断面)[縮尺1/20]

面積表、計画の要点等※各階平面図については、試験問題中に示す設計条件等において指定します。

(注1)答案用紙には、1目盛が5ミリメートル(部分詳細図(断面)については10ミリメートル)の方眼が与えられている。

(注2)建築基準法令に適合した建築物の計画(建蔽率、容積率、高さの制限、延焼のおそれのある部分、防火区画等)とする。

(注意事項) 試験問題を十分に読んだうえで、「設計製図の試験」に臨むようにしてください。なお、設計と条件に対して解答内容が不十分な場合には、「設計条件・要求図書に対する重大な不適合」と判断されます。

今回ない条件①架構形式②階数指定③仕上表④構造部材表

本年度対策のポイント

【要求図書「各階平面図」というのは何か】

3階建てを想定して練習するのがベストです。「試験問題中に示す設計条件等において指定します」という表現は1級製図でありましたが、2級では初めてです。2階建てを要求される可能性もありますが、2階建ての場合、堅穴区画(防火規定)が必要なくなり、より注意の必要な3階建てを理解して、何が2階建てでは必要なくなるかをのちに勉強して下さい。2級建築士のRC造の業務範囲は延べ面積300㎡以下、高さ13m以下、軒の高さ9m以下となりますので、3階建てが限度となります。またA2用紙に1/100スケールで書くには3階建てが作図スペースの限界となります。さらに考えられるのは基準階の指定ですが、3階建てが限界なため、2階と3階が基準階となります。そのときは1階の敷地が大きく外構が広くなるのが想定できます。

【課題タイトルからのポイント】

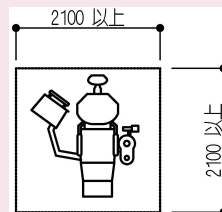
「歯科診療所+住宅」の併用とありますのでオーナーが歯科診療所を経営しつつ、住宅に住むと考えて良いでしょう。ゾーンとしては3つあります。「歯科部分+住宅部分+コア部分」コア部分とは「階段+エレベータ+廊下・ホールなど」のタテのゾーンと理解して下さい。課題により、①コア部分が共用部となり独立する場合(マンションを想像するとわかりやすい)、②コアが住宅部分に含まれる場合(住人しか上下する必要がない時など)の2パターンの違いを読み分けて下さい。更に細かくみると歯科診療所については、「患者」と「医師+スタッフ」によるゾーンわけ、住宅は家族のメンバーによるゾーン分け(高齢者と同居するのか、2世帯が住居するのかなど)。このようなゾーンをしっかりと分けることが配置計画で重要になります。次に人の属性による動線分離を考慮することが大切です。医師・スタッフ・患者・住宅に住む家族の動線をどのように分けるかということです。それは課題文に条件が記載があれば守って設計します。例:患者とスタッフのアプローチは明確に分離する。スタッフと家族のアプローチは兼用してもよいなど。近年の課題は受験生がどう考えて動線を分けたかという設計意図をしっかりと自分で提案する形になってきています。ゾーンを分ける、動線をわけることは、その建物の使いやすさにかかわる設計の必須事項として対処して下さい。

【(注2)建築基準法令に適合した建築物の計画の但し書きについて】

例年1級建築士の製図試験の課題にある但し書きと同じ文章の記載であり、2級では初めての但し書きです。(1級ではこのほかに避難施設の記載もある)1級の場合、ここにある法規的なことは課題文に記載がなく、この課題発表に記載があったことはもちろん守って当然で採点するというスタンスですので、しっかり必要な法規は暗記して使えるようになって下さい。では延焼の恐れのある部分とは?→1階は3m以下、2階以上は5m以下、基準は隣地境界線と道路中心線からの範囲となります。「延焼の恐れのある部分を破線で明記」するだけで出題されますので3m、5mは記憶しておかないといけません。火は上の方が広がりますので、上が5mともう覚えましょう(これを読んだ今覚えて下さい)このようにその他の項目も覚える必要があります。

【歯科診療所】

平成9年「歯科診療所併用住宅(木造2階建)」のときの診療所の要求室は玄関・待合室・受付事務室・診察室・X線室・技工室・休憩室・院長室兼応接室・倉庫・便所でした。歯科診察台は図-2のように出題されましたが、実際は医師が患者の頭側に座りますし、バキュームをする歯科助手のスペースも必要なことも理解して下さい。現在、歯科は子供に対応しています。キッズスペースや幼児用大便器のある便所を設置し、玄関にガチャガチャが置いてあったりします。ちなみに幼児用大便器は節水効果があります。



(注)歯科診療台設置スペースは、図のように破線で記入すればよい(歯科診療台は、記入しなくてもよい)

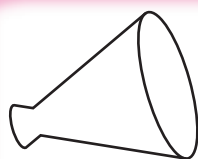
図-2 歯科診療台の参考図

【作図】

勉強していくに当たり、作図スピードupを第一目標としてください。そのなかでも**部分詳細図(断面)**を暗記して10分以内でかけるようになることを最優先するよう当学院は受講生にお伝えしています。

心からみなさんの合格の笑顔をお祈りします、がんばってください!

製図試験で失敗しない方法を
当学院の初回無料講座で
しっかりマスターしましょう。



学科独学の受験生
完全サポーター宣言!



名古屋建築資格学院

NAGOYA ARCHITECTURE DESIGNER QUALIFICATION ACADEMY



0120-758-317

ナゴヤサイーナ